

令和4年7月8日  
独立行政法人日本スポーツ振興センター  
広報室

## カナダ・スポーツ関連機関5団体との連携協定覚書を締結

2022年7月8日（現地時間7日）、カナダ・オタワにて、日本スポーツ振興センター（JSC）は、カナダのスポーツ関連機関5団体（オウン・ザ・ポディウム、カナダ・オリンピック委員会、カナダ・パラリンピック委員会、カナダ・オリンピック・パラリンピック・スポーツ研究所ネットワーク、カナダ・コーチング協会）と、日本とカナダ両国間におけるスポーツのさらなる発展に向けた協力体制を構築するため、幅広い分野における包括連携協定覚書を締結しました。

JSCは協定にもとづき、夏・冬季オリンピック・パラリンピックスポーツの競技力向上への寄与、スポーツ界における女性リーダー輩出・育成支援、スポーツとSDGsの推進、コーチングなどの領域における連携事業を行うことを目的とし活動を行います。また政府系スポーツ機関として、このユニークな連携協定の枠組みを活用し、より多くの競技団体及び国内スポーツ関係者の方々が協力体制を構築するための支援を行っていきたいと考えています。



オウン・ザ・ポディウム アン・メルクリンガーCEO（左）と  
JSC 芦立訓理事長（右）



調印式参加者による集合写真

本連携協定の主な連携領域は以下の通りです。

- アスリートやチームのトレーニングや競技支援
- アスリートの育成
- コーチ及び技術指導者の育成
- スポーツ指導者・役員・スポーツ関係者の交流プログラム及び訪問
- スポーツ科学及びスポーツ医学関係者のための研修及び情報交換プログラム並びにスポーツ科学の発展における協力
- 安全なスポーツ、スポーツ教育、スポーツマネジメント、スポーツ研究所及びトレーニングセンター分野における研修及び情報交換プログラム
- スポーツ分野における情報及び研究の開発のための技術・インフラ及びプログラムの分野における研修及び情報交換
- スポーツ分析
- オリンピック・パラリンピック競技大会プロジェクト、及び本覚書の枠組みの中で、相互の利益のために適切かつ必要とみなされるその他の分野および題目

調印式は、カナダのOWN・ザ・ポディウムCEOアン・メルクリンガー氏、カナダ・オリンピック委員会 スポーツ・システム・エクセレンス部長 マーク・マクレガー氏、カナダ・パラリンピック委員会CEOカレン・オニール氏、スポーツ部長 カトリーヌ・ゴスラン＝デプレ氏、カナダ・コーチング協会CEOロレーヌ・ラフレニエール氏、カナダ・オリンピック・パラリンピック・スポーツ研究所オンタリオCEOデビー・ロー氏、駐カナダ 山野内勘二特命全権大使、JSC 芦立理事長、久木留理事らが列席する中で実施しました。

#### JSC 芦立理事長コメント

これまでの関係をより強固で持続可能なものにしていくために、またJSCとしてはじめて複数のカナダのパートナーとユニークな連携協定を締結できたことを非常に嬉しく思います。

カナダは、夏・冬季オリンピック・パラリンピックスポーツの競技力向上や多様なリーダー輩出・育成支援などに関わる様々な領域で世界を牽引しています。

JSCが有する多種多様な機能を活用し、それぞれのカナダのパートナーと包括的な連携領域・活動を推進してまいります。

この連携協定が、情報や知見の交流を通して、組織間、両国間の様々な領域で専門知識と経験の共有を図ることで、更なるスポーツの発展に寄与することを期待します。

#### カナダ・OWN・ザ・ポディウム アン・メルクリンガー氏コメント

スポーツが世界的に発展することは、全世界、そしてスポーツに取り組む人々にポジティブな影響をもたらします。

カナダのスポーツ関連機関は日本と長年に渡って関係を築いており、東京2020大会に向けても日本スポーツ振興センターとの協力関係の元、様々な利益を得てきました。今回の連携協定の締結により、これまでの関係をより深く、強固なものとし、スポーツが今後の地域社会によりプラスの影響を与えられるよう、専門知識や新たな視点を取り入れ、本協定のターゲットとなるスポーツの分野に注力し、各組織と協力して参ります。

調印式や、カナダの各スポーツ関連機関については以下のお知らせをご覧ください。

【URL】 <https://www.jpnsport.go.jp/corp/Tabid/157/ItemID/1006/Default.aspx>

